

学 校 教 育

Ⅰ 市立学校（園）数、園児・児童・生徒数、教員数

1 校種別学校（園）数

（令和6年5月1日現在）

区 分	本 校（園・校）	分 校（校）	計（園・校）
こ ども 園	56	0	56
小 学 校	81	0	81
中 学 校	43	0	43
高 等 学 校	2	0	2
計	182	0	182

※認定こども園に準じた中山間地（井川・梅ヶ島・大川・清沢）の4園を含む。梅ヶ島こども園及び大川こども園は休園中

2 学年別、男女別、園児・児童・生徒数

（令和6年5月1日現在）

区 分	学 年	男（人）	女（人）	計（人）
こ ども 園	0 歳 児	86	68	154
	1 歳 児	233	215	448
	2 歳 児	297	299	596
	3 歳 児	427	392	819
	4 歳 児	392	417	809
	5 歳 児	454	416	870
	計	1,889	1,807	3,696
小 学 校	1	2,337	2,134	4,471
	2	2,390	2,300	4,690
	3	2,525	2,319	4,844
	4	2,473	2,414	4,887
	5	2,624	2,407	5,031
	6	2,611	2,370	4,981
	計	14,960	13,944	28,904
中 学 校	1	2,392	2,320	4,712
	2	2,522	2,333	4,855
	3	2,568	2,260	4,828
	計	7,482	6,913	14,395
高 等 学 校	1 全	286	243	529
	2 全	288	275	563
	3 全	287	258	545
	計	861	776	1,637
合 計		25,192	23,440	48,632

※認定こども園に準じた中山間地（井川・清沢）の2園を含む

3 校種別、職種別、男女別教員数

（令和6年5月1日現在）

区 分	園 長（人）		副 園 長（人）		主任保育教諭（人）		副主任保育教諭（人）		保育教諭（人）		栄養士・調理員（人）		会計年度任用職員（フル）（人）		会計年度任用職員（パート）（人）		合 計（人）		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
こども園※	0	52	0	52	2	64	10	77	42	377	1	28	3	197	21	701	79	1,548	1,627

※認定こども園に準じた中山間地（井川・清沢）の2園を含む

区 分	校 長 (人)		副 校 長 (人)		教 頭 (人)		主幹教諭 (人)		教 諭 (人)		教 諭 臨時・任期付(人)		養護教諭 臨時・任期付(人)		実習助手 (人)		栄養教諭 (人)		講 師 (人)		合 計 (人)		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小中学校	6	0	0	0	5	1	0	0	31	21	3	2	1	5	0	0	1	0	0	45	31	76	
小学校	57	18	0	0	54	24	23	2	587	828	22	36	70	7	0	1	11	0	0	744	996	1,740	
中学校	36	1	0	0	25	14	11	0	440	325	57	36	38	1	0	0	3	0	0	569	418	987	
高等学校	2	0	2	0	1	1	0	0	70	41	0	0	2	0	2	0	0	1	1	76	47	123	
合 計	101	19	2	0	85	40	34	2	1,128	1,215	82	74	111	13	2	1	15	1	1	1,434	1,492	2,926	

※再任用を含む

II 施 設 計 画

(小・中学校)

事 業 名	学 校 名	概 要	備 考
特別教室空調設備整備事業	工事：全中学校 設計：全小中学校	特別教室への空調設備設置工事 特別教室への空調設備設置工事設計業務委託	繰越事業を含む
校舎トイレ改修事業	工事：大里西小学校 外11校 設計：麻機小学校 外23校	トイレ改修工事 トイレ改修工事設計業務委託	繰越事業
屋上防水等改修事業	末広中学校 外1校	校舎屋上防水・外壁改修工事	
小中一貫校整備事業	(仮称) 蒲原小中学校 (仮称) 薬科小中学校	対象：2小学校1中学校 内容：管理棟解体工事、新校舎建設工事 対象：3小学校1中学校 内容：基本設計・実施設計業務委託	
その他校舎等補修事業	長田西中学校 外10校	プールろ過設備改修工事 空調設備改修工事 防球ネット改修工事 自動火災報知機設備修繕 等	

(高等学校)

事 業 名	学 校 名	概 要	備 考
校舎トイレ改修事業	市立高等学校	トイレ改修工事（中央館東系統）	
体育館空調設備整備事業	市立高等学校 市立清水桜が丘高等学校	体育館空調設備設置工事設計業務委託	
その他校舎等補修事業	市立高等学校	校舎中央館外壁改修工事 視聴覚ホール及び周囲回廊外壁等改修工事	

III 学校教育の重点施策

(静岡市教育委員会「第3期静岡市教育振興基本計画」を受けて)

「たくましく しなやかな 子どもたちを育てる」

急激な社会変化にも対応しながら、自らの豊かな未来を切り拓くことのできる力を持った子どもたちを育てる

施策1 総合的な学力の向上

(1) 学力向上支援策の推進

ア 学校訪問事業

各校の小中一貫教育及び研修の推進状況を把握し、学力向上に係る成果と課題を明らかにして指導・助言することで、さらなる授業改善を図ります。

イ 学力向上支援事業

「全国学力・学習状況調査」の結果等を分析し、成果と課題を明らかにした上で、小・中学校の要請に応じて専門家を派遣して、授業改善に関する指導や講演などを行います。

ウ 教科指導力向上研修

文部科学省が示している指導の重点、学校訪問事業や学力向上専門家委員会の協議等で見えてきた課題を基に、授業力向上を目指す研修会を行います。

エ 学力アップサポート事業

小学校に学習支援員を派遣し、学習内容の定着に不安のある小学5、6年生の子どもたちを対象に、放課後、算数の個別学習支援を実施し、学習意欲と基礎的な学力を向上させることを目指します。

(2) 地域・企業等と連携したキャリア教育の推進

小中学生の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てるため、地域・企業等とも連携を図りながら、キャリア教育を推進します。

ア 各学校におけるキャリア教育の改善・充実を図ります。

イ 民間の様々な教育力を活用し、自立心や社

会性の基盤となる資質・能力・態度や勤労観・職業観を育みます。

ウ 全中学校で自立を育む職場体験学習を実施します。

エ しずおか企業教育プログラムの活用を推進します。

オ 「静岡市民間教育力活用事業スペシャリスト」一覧の更新及び各学校への情報提供を実施します。

(3) 学校図書館教育の推進

ア 学校図書館の充実

学校図書館ガイドラインを基に、学校図書館の平準化・高度化を進めることで、「読書センター」としてだけでなく、「情報センター」「学習センター」としての機能を高め、論理的思考力や情報活用能力を身につけた子どもたちの育成を目指します。

イ 図書館における学校への支援の充実

学校司書の計画的な配置や学校訪問、学校司書への研修を行うことにより、授業における学校図書館の利活用を促進して高度な教育を目指します。

施策2 豊かな心・感性の育成

(1) 静岡版道德教育の充実

道德教育推進教師を中心に、道德の時間の授業改善を進めるとともに、学校教育全体で行う道德教育を推進し、静岡版道德教育の充実を図ります。

ア 学校教育活動の様々な場面で地域人材を活用します。

イ 地域・保護者に対して道德の授業を公開します。

ウ 道德教育全体計画を作成し、推進します。

エ 市独自の教材である「しずおかマナーブック(学-BOOK)」を活用します。

オ 学校、学級の掲示「道德コーナー」の充実を図ります。

(2) 人権教育や生命を大切にする教育の推進

児童生徒の人権に関する知識・理解と人権感

覚を高めていくために、教員が子どもの権利を十分に理解した上で、人権尊重の視点に立った学校づくりや教育活動を行います。

ア 各教科学習や教育活動全体を通して、人権や生命を大切にする教育、指導を実施します。

施策3 健やかな体づくり

(1) 体力向上支援策の推進

ア 教科指導力向上研修

文部科学省が示している指導の重点や体力向上専門家委員会で確認された課題と指導改善のポイントを基に、体力づくりにおける授業力向上を目指す研修会を行います。

イ 体力向上支援事業

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果等を分析し、成果と課題を明らかにした上で、小・中学校の要請に応じて専門家を派遣し、授業改善に関する指導や講演を行います。

(2) 健康教育等の充実

ア 保健教育の充実

子どもたちが心の健康を含むさまざまな健康課題に対し、自ら解決しようと努力して、健康生活を実践していく力を養うための保健活動を計画的に実施します。

(3) 食育の推進

学校給食をとおして「健全な体を育み、多様な食文化に触れながら静岡の食のすばらしさを伝える子」の育成を目指します。

ア 各小中学校で「食に関する指導の全体計画」をもとに各教科・領域および給食時間において「食に関する指導」を実践します。

施策4 静岡市民を育てる教育（シティズンシップ教育）

(1) 豊富な社会資源を活用した郷里を知る教育への取組

本市の人的資源や物的資源を活用しながら、「ひと・もの・こと」を視点に体験的に学ぶこと

を通して、本市の歴史文化、自然環境や産業等への理解を深め、「ふるさと静岡」への愛着と誇り、社会への参画意識の向上を図ります。

ア 社会教育施設や副読本（「しずおかだ いすき」「わがまち静岡」「しずおか学」）の活用

子どもたちが静岡市のすばらしさを学び、将来それを生かすことができるように、市内に存在する社会教育施設や多くの史跡、地域教材の副教材等を活用します。

イ しずおか学の推進

小中一貫教育グループ校の地域性を生かし、静岡市の特色である「お茶・しずまえ・オクシズ・海洋文化・防災・歴史文化」に視点を当てた横断的・総合的な学習に取り組むことを通して、本市に愛着と誇りをもち、広く社会や世界に目を向けてその発展に寄与する人材を育成します。

施策5 国内外でグローバルに活躍できる人材の育成

(1) 英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクトの推進

異なる文化の人々と自信を持ってコミュニケーションをとることができ、地元への愛情を持ちながら国際的に活躍できる子どもを育てるための取組を推進していきます。

ア 授業の充実

しずおか学と連携した独自英語教材「しずおかグローバルタイム」を活用し、授業の充実を図ります。

イ 英語指導力の強化

教職員研修の充実や小学校外国語専科教員、外国語指導助手（ALT）、地域人材（GET）の活用を通して、英語指導力の強化に取り組めます。

ウ 英語に接する機会の拡充

放課後等にALTと気軽に英会話を楽しむイングリッシュデイ、イングリッシュカフェを実

施するなど、英語に接する機会を拡充します。

施策6 特色ある小中高等学校教育の推進

(1) 幼児教育の充実と幼小接続の推進

子どもの発達や学びの連続性を確保するために、認定こども園・幼稚園・保育園での教育及び保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育へと円滑に接続できるよう園と小学校の連携を一層深めていきます。

(2) 静岡型小中一貫教育の推進

各小中一貫教育グループが「目指す子どもの姿」を地域・保護者と共有し、「小学校と中学校（たてのつながり）」と、「学校と地域（よこのつながり）」を大切に、9年間の一貫した学びを通して「つながる力」を育てるとともに、地域ならではの特色ある教育活動に取り組むことにより、地域社会や世界で活躍する子どもを育成します。

(3) 特色ある高等学校教育の推進

ア 高等学校改革の推進

市立の高等学校において、多様な他者との協働により、広い分野・国際感覚を身に付けるとともに、地域社会の核となり、未来の静岡をけん引する人材を育成していきます。

施策7 教育DXの推進

(1) 学校教育におけるICTの活用

ア ICT環境整備

1人1台端末・校務支援システム端末、これらのネットワーク環境の保守等を行うほか、通信環境が整っていない家庭へモバイルWi-Fiルータ等の貸出を実施します。

イ 教職員に対するICT利活用支援

ICT支援員及びヘルプデスクを配置し、ICTを活用した教職員の指導力向上を図る支援やリーダー育成のための研修等を実施します。

ウ 学習者用デジタル教科書の普及促進と利用促進

学習者用デジタル教科書利用における成果・課題を検証するとともに、導入方針の策定、見直しを行います。

エ デジタル・シティズンシップ教育や情報モラル教育の促進

デジタル時代を生きる子どもの規範意識、資質、能力の育成を図るための教育を実施します。

誰もが幸せを感じながら生き生きと輝く、多様性を尊重した教育を推進する

施策8 特別支援教育の推進

(1) 特別支援教育の推進

特別な支援を必要とする児童生徒一人ひとりに合った支援体制を整備するとともに、全ての学校における特別支援教育の推進を図ります。

ア 特別支援教育支援員等の配置

各学校に、学習や生活を支援する特別支援教育支援員や医療的ケア看護職員を配置し、個別のニーズに合わせた学習環境を整えます。

イ 自閉症・情緒障害学級の授業改善

市独自に、非常勤講師を追加配置し、学習指導の充実を図ります。

ウ 教職員研修の実施

障害のある子どもを指導する教員の専門性を高める研修を充実させるとともに、管理職を含む全教職員を対象とした特別支援教育を推進するための研修を実施します。

エ 就学に関する相談の実施

障害があるなど、特別な教育の支援を必要とする子どもの就学先等について、保護者等との相談を行います。

オ インクルーシブ教育システムの構築を推進するための集中的な施設整備事業

子どもたちが、障がいの有無にかかわらず共に教育を受けることのできる学びの場の整備を進めます。

施策9 個々のニーズに対応した教育の推進

(1) 悩みを抱える児童生徒に対する支援の充実

ア 非常勤講師、パート看護師の配置・派遣

市立小中学校におけるいじめや不登校等に迅速かつ確実に対応するため、非常勤講師やパート看護師を配置又は派遣します。

イ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置

学校が心理や福祉の専門家と連携することで、組織的な相談機能を高め、子どもが抱える悩みや不安、いじめ問題などの解消に向けて支援を行います。

ウ 教育相談員の配置

不登校の子どもや別室（サポートルーム）利用の子どもに対し、その子どもに合った居場所をつくとともに、学びを保障するため、教育相談員を配置して相談対応や学習支援等を行います。

エ 訪問教育相談員の配置

家庭訪問や面談を通じて、子どもや保護者の孤立感を解消し、変化の兆しがあったときに、教育支援センターや校内の別室指導など、その子どものニーズ、特性、状況にあった居場所への支援に繋がります。

オ いじめ防止等のための基本方針の徹底

「いじめは、今、起きている」「全ての子どもに関係する問題である」との認識に立ち、未然防止、早期の発見と適切な対応ができるよう、教育委員会と学校が組織的に、総合的かつ効果的な取組を進めます。

(2) 外国人児童生徒への支援の充実

ア 日本語指導教室の設置・運営、訪問指導員の派遣

日本語の習得が必要な子どもたちに対して、各区の日本語指導教室での通級指導や訪問指導、適応相談を行います。

イ 学校の支援体制の充実

多文化理解を深めるとともに指導力の向上を図るため、教職員及び日本語指導員を対象とした教科につながる日本語の研修を実施します。また、プレスクールや初期指導を充実させることにより、学校へのスムーズな適応を目指します。

ウ 多文化共生に関する取組

他課や地域等と連携した多文化交流会等を実施し、学校における多文化共生教育を推進します。

安全安心で魅力ある教育環境の整備と、信頼される学校づくりを進める

施策11 安全安心の確保

(1) 健康面での安全安心の確保

アレルギー疾患をもつなど健康面で特に注意が必要な子どもについて、情報を共有し、確実に迅速な対応ができるよう職員研修を行うとともに、救急体制を整備し、学校としての体制の組織化を図ります。

(2) 通学路交通安全プログラムの推進

学校から報告された通学路上の危険箇所について、道路管理者、警察、教育委員会等が安全対策について協議し、安全対策を検討・実施することで交通事故を未然に防ぎ、児童生徒の安全な通学環境を整えます。

(3) 防災教育の推進

ア 災害が発生した時に「自分の命は自分で守る」ために、防災に関する知識を習得し、実践的・体験的な活動を通して危険を回避する力を身に付ける防災教育を展開します。

- イ 地域における小中学生の役割を理解し、進んで安全安心な社会づくりに貢献できるよう、地域の防災訓練などに積極的に参加・協力できるように働きかけます。

施策12 市社会共有資産利活用推進基本方針に則った教育施設の整備

(1) 小中学校施設の整備

老朽化が進む学校施設の長寿命化や建替えなどによる老朽化対策を計画的に実施するとともに、バリアフリー化や脱炭素化、防災機能の強化など新しい時代の学びを支える安全安心で快適な教育環境の整備を進めていきます。

ア 大規模改修・中規模改修・基幹設備改修事業を実施します。

イ 校舎トイレリフレッシュ事業を実施します。

ウ 学校施設のバリアフリー化を推進します。

エ 学校施設の脱炭素化を検討します。

オ 特別教室へ空調設備を設置します。また、体育館への空調設備設置を検討します。

施策15 教職員の資質向上と働き方改革の推進

(1) 静岡型教職員多忙解消プログラムの推進

教職員の長時間労働を是正し、子どもたちと向き合い一人ひとりの成長のきっかけを見つける時間を創出することで、教育の質を高め、児童生徒の資質・能力の向上を図ります。

ア 働き方改革プラン推進委員会による教育課程の見直し等、プランの具体策を検討します。

イ 教職員の勤務事案の上限に関するガイドラインに即した校務支援システムによる勤怠管理を行います。

ウ 研究推進校の取組や各学校の好事例の集約と提示を行います。

エ 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）を全校配置した結果を検証します。

地域全体で学び合い協働する環境づくりを推進する

施策18 学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援

(1) コミュニティ・スクールの導入の推進

ア 小中一貫学校運営協議会の導入の推進

各小中一貫教育グループを単位としたコミュニティ・スクール導入に向けた支援を行うとともに、これまでの学校と地域との連携体制を基盤に、より多くより幅広い層の地域住民、団体等が参画し、学校や地域の実情に応じた地域学校協働活動を推進することができる組織づくり、ネットワークづくりを支援します。

(2) 地域学校協働活動の推進

ア 学校応援団の推進

保護者、地域住民等による学校支援活動（授業支援、環境整備、登下校の見守り等）を全小中学校で推進し、活動への支援を実施します。

イ 放課後子ども教室の実施

地域との連携・協働により放課後に小学校を活用し、自由遊び、自然体験活動、各種体験活動等を開催することで、児童の安全安心で充実した体験・交流の場の確保を推進します。さらに、放課後児童クラブ開設校については、連携して実施します。

ウ 協働活動の充実に向けた地域人材の配置

学校と地域をつなぐコーディネーター役を担う人材である「統括的な地域学校協働活動推進員」を各中学校区に、「地域学校協働活動推進員」を各小学校に配置します。

エ 地域人材の継続的な発掘・育成

“学校・地域 ひとつなぎ” コーディネーター養成講座を実施することで、学校支援活動に関わる地域人材の発掘・育成に取り組めます。

(3) P T Aとの連携

ア 市P T A連絡協議会補助金

単位P T A団体相互の交流を深めるとともに、学校教育と家庭教育の振興を図るために、市立小中学校の児童生徒の健全な育成と、より良い教育環境の整備を目的とする同会の活動に対して助成を行います。

施策19 人生100年時代を支える豊かな学びの充実

(1) 部活動改革の推進

ア 部活動に代わる新たな地域クラブ「シズカツ」の試行

子どもたちが学校規模に左右されず、スポーツ・文化芸術活動に「親しみ、楽しみ、挑戦できる」機会を保障するため、部活動に代わる新たな地域クラブ「シズカツ」の設置を目指します。

IV 教職員研修

1 静岡市教員育成指標の基本的な考え方

〈目指す子どもたちの姿〉（※第3期静岡市教育振興基本計画）

たくましく しなやかな子どもたち

- ① 知識・技能のほか、柔軟に対応できる総合的な学力、豊かな心・感性、健やかな体を備えた子どもたち
- ② いつでも、どこでも、どんな状況でも、自ら考え、主体的に行動することができる子どもたち
- ③ 困難なことがあっても、チャレンジ精神を持ち、粘り強く立ち向かう力を発揮する子どもたち
- ④ 自分の良さや可能性を認識しつつ、夢や希望に向かって努力し、豊かな未来を切り拓いていく子どもたち
- ⑤ 多様な視点で物事を捉え、他人の考えを尊重し、協力し合いながら問題解決ができる子どもたち
- ⑥ 静岡市民として、地域社会や世界で活躍するグローバルな視野・視点を持った子どもたち

静岡市の教師：教育にひたむきな教師

目指す教師像

- ◇教育への熱意、使命感をもち、生涯を通じて学び続ける教師
- ◇子ども一人一人の学びを最大限引き出し、子どもの主体的な学びを支援する教師
- ◇人とつながる人間関係調整力をもった教師

教員育成指標

◇教員育成指標

校長及び教員（以下「教員等」）が常に学び続け、資質能力を向上させるためのキャリアステージ各段階で身に付ける資質能力の目安

※校長及び教員の範囲は、校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員、任期付・臨時的任用教員

◇活用場面

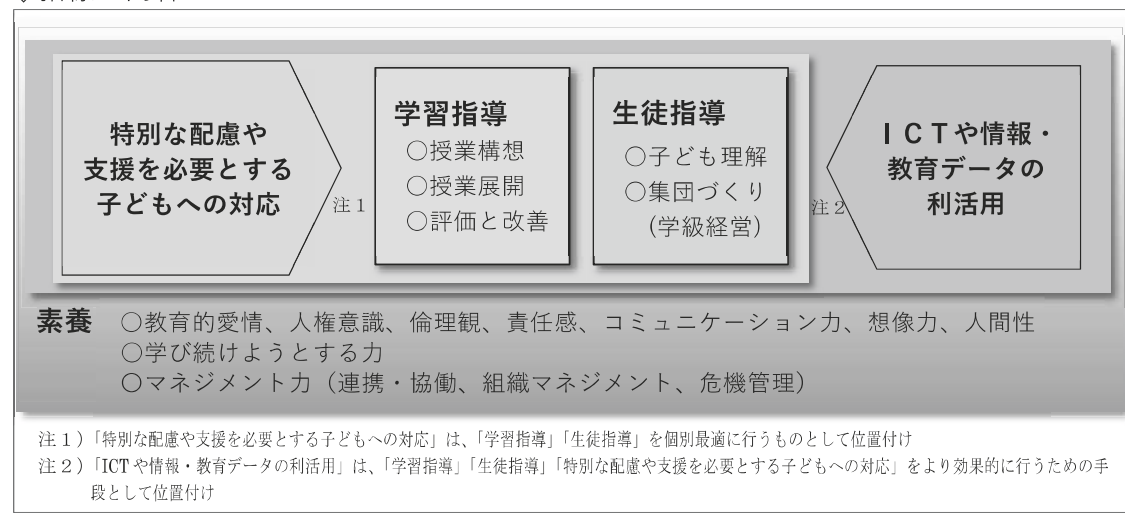
- <校長>・所属教員の資質向上を目指した指導助言、研修の受講奨励
・校長育成指標に基づく自己研鑽
- <教員>キャリアステージでの自己診断と新たな目標設定、研修の意欲付け
- <教育委員会>教員の採用、研修計画の抛り所

◇ステージの区切り

教員育成指標…4つの成長段階

- ① 着任時…教員としての歩みを始める時期（教員採用前）
- ② 基礎期…教員としての基礎を確立する時期（初任～中堅教諭等資質向上研修）まで
- ③ 充実期…中堅教員として、学校運営の中核を担う時期（中堅教諭等資質向上研修後～）
- ④ 深化期…自己の専門性（管理者としての専門性を含む）の更なる向上と若手・中堅教員への指導の時期

◇指標の内容



2 静岡市教員育成指標と教員研修

(1) 静岡市【校長】育成指標

＜静岡市が目指す校長像＞

時代の変化を的確に捉え、多様な他者と協働しながら、未来を見据えた学校経営ができる人

学校組織のリーダーとしての素養

マネジメント能力

アセスメント能力

ファシリテーション能力

校長の役割	資質能力
学校経営ビジョン の構築と実行	☐ 実態把握と分析力 ・学校内外の実態（児童生徒の学習・生活、保護者・地域からの期待、教職員（力量）・校内環境等）を把握し、学校経営における強みと課題を把握する。
	☐ 教育施策等の理解を基にした企画力 ・社会の動向、国や市の教育施策及び学校の実態を踏まえ、学校経営ビジョンを構築する。
	☐ 検証と改善力 ・学校教育目標の実現状況や教育課程の実施状況を確認・分析し、改善方針を立案し実施する。
組織づくりと 管理運営	☐ 人材育成力 ・教職員一人一人の資質能力やキャリア段階を的確に把握し、指導・助言を行うと共に、教職員の能力や適性、課題意識や将来展望に応じた分掌配置を行う。
	☐ 危機管理能力 ・安心・安全な環境づくりに取り組み、リスクマネジメントを徹底する。
	☐ 働き方改革の推進力 ・「学校における働き方改革プラン」に基づき、教職員が心身ともに健康を維持し、教育の質を高め、児童生徒の資質・能力の向上を図ることができる環境を整える。
地域連携、学校内外との コミュニケーション	☐ 合意形成力 ・学校経営ビジョンを学校内外（児童生徒・教職員・中学校区の小中学校・保護者・地域等）と共有し、実施を図る。
	☐ 教育資源の活用能力 ・コミュニティ・スクール等を通して、学校と地域の連携及び協働の取組を推進し、組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図る。

(2) 【教諭等】教員育成指標

静岡市が目指す 教師の姿	教育にひたむきな教師 ・教育への熱意、使命感をもち、<u>生涯を通じて学び続ける教師</u> ・<u>子ども一人一人の学びを最大限引き出し、子どもの主体的な学びを支援する教師</u> ・人とつながる人間関係調整力をもった教師
-----------------	---

ステージ 資質能力		着任時（採用前）	基礎期（初任～中堅研）	充実期	深化期
		教員としての歩みを 始める時期	教員としての 基礎を確立する時期	中堅教員として、 学校運営の中核を担う時期	自己の専門性（管理者としての専 門性を含む）の更なる向上と若 手・中堅教員への指導の時期
素養		☐ 「たくましく しなやかな子どもたち」を育成するために、教育的愛情、人権意識、倫理観と責任感を持ち、コミュニケーション力、想像力を働かせて人間性を磨いている。 ☐ 教育を取り巻く課題を前向きに受け止め、自律的・継続的に学び続けようとする。			
		☐ 学習指導要領を理解し、基礎的な指導法を身に付け、指導計画に従い実践しようとしている。	☐ 学習指導要領に沿って育成を目指す資質・能力を明確にし、単元や題材などの内容や時間のまとまりの中で資質・能力を育成する授業を行っている。 ☐ 子ども理解を生かし、他の教員と協働しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、学習者中心の授業を行っている。	☐ 深い教材研究に基づく専門性の高い授業を行っている。 ☐ 他の教員と協働した授業研究を行ったり、若手教員に授業改善の助言や模範授業を行ったりしている。 ☐ カリキュラム・マネジメントの視点に立ち、教科等横断的に授業を組み立て、学校の実態に応じて改善しようとしている。	☐ 専門性を更に高め、学習指導における強みを生かしている。 ☐ 高い専門性を生かして、他の教員と協働した授業研究を行ったり、若手や中堅教員に授業改善の助言・指導や模範授業を行ったりしている。 ☐ 学校全体の教育活動を俯瞰し、学校の教育活動全般に対して必要な助言を行っている。
		☐ 子ども理解 ☐ 集団づくり（学級経営）	☐ 子どもの多様性を理解し、一人一人とつながりをつくらうとしている。 ☐ 子どもの実態と背景の把握をもとに、個に応じた指導を行い、子どもとの信頼関係を築いている。 ☐ 子ども一人一人の可能性や活躍の場を引き出す集団づくり（学級経営）を行っている。	☐ 学年や学級の活動を通して、子どもが生き方についての考え方を深めていくことができるように、計画的・継続的な指導を行っている。	☐ 経験から醸し出される言葉がけや相談、見届け指導を行い、 <u>子どもの自己実現を全面的に後押し</u> している。 ☐ 子ども理解や集団づくり（学級経営）に関して、若手や中堅教員に専門性の高い助言を行っている。
		☐ 特性の理解 ☐ 支援の工夫	☐ インクルーシブ教育の理念を踏まえ、特別な支援を要する子どもの対応に関する基本的な知識を身に付けている。	☐ 障害の特性を理解し、教室環境や授業形態を工夫するなど、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を行っている。	☐ 特別な配慮や支援を要する子どもへの合理的配慮及びその基礎となる環境整備について、計画的・組織的に対応している。 ☐ 必要な配慮や支援の種類に応じて自ら模範となつて対応し、個別の教育支援計画及び個別の指導計画等の作成と実行をリードしている。
		☐ ICT活用 ☐ 情報活用能力 ☐ 教育データの活用	☐ 学校におけるICT活用の意義を理解している。	☐ 授業においてICT機器を効果的に活用している。 ☐ 校務においてICT機器を効果的に活用している。 ☐ 子どもの情報活用能力（情報モラルを含む）を育成する指導を行っている。 ☐ 様々な教育データを蓄積・分析・利活用し、 <u>子ども一人一人に応じたきめ細かい指導・支援</u> を生かしている。	
ICTや情報・教育データの活用	☐ マネジメント ☐ 連携・協働 ☐ ファシリテーション	☐ 教職員、家庭、地域との連携・協働の意義を理解している。	☐ 保護者や地域への発信、協働を通して信頼関係を築いている。 ☐ 教職員や保護者と協力しながら組織的・継続的に教育活動を行っている。	☐ 学年行事・学校行事等で、教職員や保護者、地域と連携・協働した企画を推進している。 ☐ 地域・保護者の思いを受け止めながら、関係機関と連携し、学校体制で計画的に教育活動を行っている。	☐ 地域や他校・他機関と協働した企画を広い視野で推進している。 ☐ 関係機関と連携を深め、保護者・地域を巻き込み、学校体制で、計画的・組織的に教育活動を行っている。
	☐ 組織マネジメント	☐ 教育公務員としての自覚を持ち、組織の一員として自らの役割を果たそうとしている。	☐ 担当学年・学級や分掌の業務についてPDCAサイクルに基づいて実践し、組織の中の自分の役割を果たしている。	☐ 担当学年や分掌の主任等としての業務について、同僚との合意形成を図り、計画的・組織的に職務を推進している。	☐ 現状と教育資源の分析をもとに、校内外人材の適材適所での活用や地域との協働により効果を上げている。
	☐ 危機管理	☐ 教室内外の安全管理について理解し、適切に対応しようとしている。	☐ 教室内外の安全管理を適切に行っている。	☐ 学校全体のリスクマネジメント（危機回避）とクライシスマネジメント（危機対応）を意識して取り組んでいる。	☐ リスクマネジメントとクライシスマネジメントに関する実施体制の主管と指導を行っている。

【教諭等】教員研修（悉皆・推薦・希望研修編）

ステージ				基礎期（初任研～中堅研）		充実期	深化期
資質能力				初任研・2年次研・3年次研	中堅研	15年次研	深化期研Ⅰ・深化期研Ⅱ
素養 ICTや情報・教育データの活用 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	学習指導	○授業構想 ○授業展開 ○評価と改善		●「深い学び」の実現に向けた授業づくり ●令和の日本型学校教育が目指す授業とは ●授業づくり研修（12教科・領域） ●運動が苦手な児童（生徒）のための実技指導研修会 ●これからの学校図書館 ●特別活動の基本・学級活動の授業づくり ●「健康」の視点から考える運動と食事	●「深い学び」の実現に向けた授業づくり ●令和の日本型学校教育が目指す授業とは ●授業づくり研修（12教科・領域） ●運動が苦手な児童（生徒）のための実技指導研修会 ●これからの学校図書館 ●特別活動の基本・学級活動の授業づくり ●「健康」の視点から考える運動と食事	●「深い学び」の実現に向けた授業づくり ●令和の日本型学校教育が目指す授業とは ●授業づくり研修（12教科・領域） ●運動が苦手な児童（生徒）のための実技指導研修会 ●これからの学校図書館 ●「健康」の視点から考える運動と食事	●「深い学び」の実現に向けた授業づくり ●令和の日本型学校教育が目指す授業とは ●授業づくり研修（12教科・領域） ●運動が苦手な児童（生徒）のための実技指導研修会 ●これからの学校図書館 ●「健康」の視点から考える運動と食事
				初任研・2年次研・3年次研	中堅研	15年次研	
				悉皆 教科指導力向上研修			
	生徒指導	○子ども理解 ○集団づくり（学級経営）		●アンガーマネジメント研修 ●性の多様性研修 ●子どもが変わる学級づくりのポイント ●子どものレジリエンスを育てるには ●不登校支援のプロセス	●アンガーマネジメント研修 ●性の多様性研修 ●子どもが変わる学級づくりのポイント ●子どものレジリエンスを育てるには ●不登校支援のプロセス	●アンガーマネジメント研修 ●性の多様性研修 ●子どもが変わる学級づくりのポイント ●不登校支援のプロセス	●アンガーマネジメント研修 ●性の多様性研修 ●不登校支援のプロセス
				初任研	中堅研	15年次研	
	○特性の理解 ○支援の工夫			●特別支援教育研修 ●教育のユニバーサルデザイン1～4 ●日本語指導	●特別支援教育研修 ●教育のユニバーサルデザイン1～4 ●日本語指導	●教育のユニバーサルデザイン1～4 ●日本語指導	●教育のユニバーサルデザイン1～4 ●日本語指導
				初任研	中堅研	15年次研	
	○ICT活用 ○情報活用能力 ○教育データの活用			●1人1台端末基礎研修 コア研修 ●1人1台端末活用研修 アドバンス研修	●1人1台端末基礎研修 コア研修 ●1人1台端末活用研修 アドバンス研修	●1人1台端末基礎研修 コア研修 ●1人1台端末活用研修 アドバンス研修	●1人1台端末基礎研修 コア研修 ●1人1台端末活用研修 アドバンス研修
				初任研	中堅研	15年次研	
	○マネジメント 連携・協働 ファシリテーション 組織マネジメント 危機管理			●子どもを育てる保護者との信頼関係づくり ●地域とともにある学校づくり ●ファシリテーションで育む3つの教師力～マネジメント力・授業力・モチベーション～ ●教師の働き方 意識改革	●子どもを育てる保護者との信頼関係づくり ●地域とともにある学校づくり ●ファシリテーションで育む3つの教師力～マネジメント力・授業力・モチベーション～ ●教師の働き方 意識改革	●地域とともにある学校づくり ●ファシリテーションで育む3つの教師力～マネジメント力・授業力・モチベーション～ ●学校安全・リスクマネジメント研修 ●教師の働き方 意識改革 ●学校に関する訴訟・判例	●地域とともにある学校づくり ●ファシリテーションで育む3つの教師力～マネジメント力・授業力・モチベーション～ ●学校安全・リスクマネジメント研修 ●教師の働き方 意識改革 ●学校に関する訴訟・判例
				初任研	中堅研	15年次研	

(3) 【養護教諭】教員育成指標

静岡市が目指す 教師の姿	教育にひたむきな教師
	・教育への熱意、使命感をもち、生涯を通じて学び続ける教師 ・<u>子ども一人一人の学びを最大限引き出し、子どもの主体的な学びを支援する教師</u> ・人とつながる人間関係調整力をもった教師

ステージ		着任時（採用前）	基礎期（初任～中堅研）	充実期	深化期
		教員としての歩みを 始める時期	教員としての 基礎を確立する時期	中堅教員として、 学校運営の中核を担う時期	自己の専門性（管理者としての専門性を含む）の更なる向上と若手・中堅教員への指導の時期
資質能力		☐ 「たくましく しなやかな子どもたち」を育成するために、教育的愛情、人権意識、倫理観と責任感をもち、コミュニケーション力、想像力を働かせて人間性を磨いている。 ☐ 教育を取り巻く課題を前向きに受け止め、自律的・継続的に学び続けようとする。			
		☐ 学校保健安全法を基に、健康診断や救急処置、疾病予防、健康観察等の基礎的知識を身に付けている。	☐ 児童生徒の実態や健康課題を把握し、発達段階や個に応じて適切に対応する。	☐ 緊急時に備えた救急体制を整備し、教職員への周知と啓発を行う。 ☐ 健康課題の解決に向け、保護者や地域と協働・連携した保健管理を推進する。	☐ 健康課題に適切に対応するため、専門性を発揮し、校内外の指導的役割を果たす。
		☐ 救急処置や疾病予防等、的確に迅速に行うことができる。			
		☐ 学習指導要領・教育課程を理解し、児童生徒の実態に応じた保健教育の必要性を理解している。	☐ 学級担任・教科担任等と連携して養護教諭の専門性を生かした保健教育に参画・実践しようとしている。 ☐ 子どもの実態に応じた個別の保健教育を実施する。	☐ 保健教育について計画・実践・評価し、効果的・組織的に推進する。	☐ 保健教育の推進にあたり、地域や他の専門機関と連携した取組を行い、教職員に助言を行う。
		☐ 学校保健安全法による健康相談・教育職員免許法による健康相談活動の位置付け及び内容を理解している。 ☐ ヘルスアセスメントの基礎を理解している。	☐ 発達障害、慢性疾患等、配慮を必要とする子どもの実態と背景の把握をもとに、保護者や他の教職員と協力しながら個に応じたアセスメント・対応ができる。	☐ 本人・保護者の思いを受け止めながら、地域・関係機関と連携し、健康相談・健康相談活動を実施する。 ☐ 配慮を要する子どもの個別の指導計画等の作成に参画する。	☐ 保護者・地域・関係機関と連携し、学校体制で、計画的・組織的な対応を行うにあたり、コーディネーターの役割を果たす。
		☐ 心身相関の視点から、ヘルスアセスメントに応じた的確な判断・対応ができる。			
		☐ 養護教員の役割、保健室の機能に関する基礎的知識を身に付けている。 ☐ 課題解決型の保健室経営計画の必要性を理解している。	☐ 学校教育目標、学校保健目標の具現化のための保健室経営計画を立て、校内で共有し、計画的・組織的に実施する。	☐ 保健室経営計画について、実践を充実させ、効果的な保健室経営を推進する。	☐ 学校運営に参画し、効果的・組織的に保健室経営を推進する。
		☐ 保健組織活動の意義と学校・家庭・地域等の協力・連携の重要性を理解している。	☐ 保健組織活動の企画・運営に積極的に取り組む。	☐ 保健組織活動が効果的に実践できるよう内容の工夫改善を図る。	☐ 地域や他校・他機関と協働した企画を広い視野で推進する。
		☐ 子どもの多様性を理解し、一人一人とつながりをつくろうとしている。	☐ 子どもの実態と背景の把握をもとに、個に応じた指導を行い、子どもとの信頼関係を築いている。	☐ 組織の一員として、子どもが生き方についての考え方を深めていくことができるように、計画的・継続的な指導を行っている。	☐ 経験から話し出される言葉がけや相談、見届け指導を行い、 <u>子どもの自己実現を全面的に後押ししている</u> 。 ☐ 子ども理解に関して、若手や中堅教員に専門性の高い助言を行っている。
		☐ インクルーシブ教育の理念を踏まえ、特別な支援を要する子どもの対応に関する基本的な知識を身に付けている。	☐ 障害の特性を理解し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を行っている。	☐ 特別な配慮や支援を要する子どもへの合理的配慮及びその基礎となる環境整備について、計画的・組織的に対応している。	☐ 必要な配慮や支援の種類に応じて自ら規範となつて対応し、個別的教育支援計画及び個別の指導計画等の作成に参画し実行をリードしている。
		☐ 学校におけるICT活用の意義を理解している。	☐ 授業においてICT機器を効果的に活用している。 ☐ 校務においてICT機器を効果的に活用している。 ☐ 子どもの情報活用能力（情報モラルを含む）を育成する指導を行っている。 ☐ 様々な教育データを蓄積・分析・利活用し、 <u>子ども一人一人に応じたきめ細かい指導・支援に生かしている</u> 。		
		☐ 教職員、家庭、地域との連携・協働の意義を理解している。	☐ 保護者や地域への発信、協働を通して信頼関係を築いている。 ☐ 教職員や保護者と協力しながら組織的・継続的に教育活動を行っている。	☐ 学年行事・学校行事等で、教職員や保護者、地域と連携・協働した企画を推進している。 ☐ 地域・保護者の思いを受け止めながら、関係機関と連携し、学校体制で計画的に教育活動を行っている。	☐ 地域や他校・他機関と協働した企画を広い視野で推進している。 ☐ 関係機関と連携を深め、保護者・地域を巻き込み、学校体制で、計画的・組織的に教育活動を行っている。
		☐ 教育公務員としての自覚を持ち、組織の一員として自らの役割を果たそうとしている。	☐ 養護教諭の職務についてPDCAサイクルに基づいて実践し、組織の中で自分の役割を果たしている。	☐ 養護教諭の職務について、同僚との合意形成を図り、計画的・組織的に職務を推進している。	☐ 現状と教育資源の分析をもとに、校内外人材の適材適所での活用や地域との協働により効果を上げている。
		☐ 教室内外の安全管理について理解し、適切に対応しようとしている。	☐ 教室内外の安全管理を適切に行っている。	☐ 学校全体のリスクマネジメント（危機回避）とクライシスマネジメント（危機対応）を意識して取り組んでいる。	☐ リスクマネジメントとクライシスマネジメントに関する実施体制の主管と指導を行っている。

【養護教諭】教員研修（悉皆・推薦・希望研修編）

資質能力		ステージ		基礎期(初任研～中堅研)		充実期		深化期			
				初任研	2・3年次研	中堅研	15年次研		深化期研修Ⅰ・Ⅱ		
素養	ICTや情報・教育データの活用	養護教諭 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	養護教諭 O保健管理 O保健教育 O健康相談・健康相談活動 O保健直営 O保健組織活動	【経年研修】 ☆養護教諭の職務 ☆養護教諭の役割 ☆救急法講習	【経年研修】 ☆養護教諭の役割 ☆一人一実践	【経年研修】 ☆養護教諭の役割 ☆一人一実践	【希望研修】 ●静岡県養護教諭研究会主催 夏季研・冬季研 ●学校保健関係研修会	【希望研修】 ●静岡県養護教諭研究会主催 夏季研・冬季研 ●学校保健関係研修会			
				【希望研修】 ●静岡県養護教諭研究会主催 夏季研・冬季研 ●学校保健関係研修会	【希望研修】 ●静岡県養護教諭研究会主催 夏季研・冬季研 ●学校保健関係研修会						
				初任研	2・3年次研	中堅研	15年次研				
				悉皆 静岡市養護教諭研修会(第1～3回)							
				悉皆 静岡県養護教員講習会							
				静岡市養護教諭支部研修							
素養	ICTや情報・教育データの活用	養護教諭 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	養護教諭 O子ども理解 O特性の理解 O支援の工夫	【経年研修】 ☆いじめ問題 ☆不登校問題 ☆自殺予防	【経年研修】 ☆いじめ問題	【経年研修】 ☆不登校の実態と対応 ☆いじめ問題への対応	【希望研修】 ●アンガーマネジメント研修 ●性の多様性研修 ●子どもが変わる学級づくりのポイント ●不登校支援のプロセス	【希望研修】 ●アンガーマネジメント研修 ●性の多様性研修 ●不登校支援のプロセス			
				【希望研修】 ●アンガーマネジメント研修 ●性の多様性研修 ●子どもが変わる学級づくりのポイント ●子どものレジリエンスを育てるには ●不登校支援のプロセス							
				初任研	2・3年次研	中堅研	15年次研				
素養	ICT活用 O情報活用能力 O教育データの活用	養護教諭 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	養護教諭 O特性の理解 O支援の工夫	●特別支援教育研修 ●教育のユニバーサルデザイン1～4 ●日本語指導		●特別支援教育研修 ●教育のユニバーサルデザイン1～4 ●日本語指導	●教育のユニバーサルデザイン1～4 ●日本語指導	●教育のユニバーサルデザイン1～4 ●日本語指導			
				初任研	2・3年次研	中堅研	15年次研				
素養	ICT活用 O情報活用能力 O教育データの活用	養護教諭 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	養護教諭 O子ども理解 O特性の理解 O支援の工夫	●1人1台端末基礎研修 コア研修 ●1人1台端末活用研修 アドバンス研修		●1人1台端末基礎研修 コア研修 ●1人1台端末活用研修 アドバンス研修	●1人1台端末基礎研修 コア研修 ●1人1台端末活用研修 アドバンス研修	●1人1台端末基礎研修 コア研修 ●1人1台端末活用研修 アドバンス研修			
				初任研	2・3年次研	中堅研	15年次研				
素養	ICT活用 O情報活用能力 O教育データの活用	養護教諭 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	養護教諭 O子ども理解 O特性の理解 O支援の工夫	【経年研修】 ☆安全教育と安全管理 ☆人権教育	【経年研修】 ☆安全教育	【経年研修】 ☆マネジメントの基本、演習、実践報告 ☆倫理研修	【希望研修】 ●静岡県養護教諭研究会主催 夏季研・冬季研 ●学校保健関係研修会 ●地域とともにある学校づくり ●ファシリテーションで育む3つの教師力～マネジメント力・授業力・モチベーション～ ●学校安全・リスクマネジメント研修 ●教師の働き方 意識改革 ●学校に関する訴訟・判例	【希望研修】 ●静岡県養護教諭研究会主催 夏季研・冬季研 ●学校保健関係研修会 ●地域とともにある学校づくり ●ファシリテーションで育む3つの教師力～マネジメント力・授業力・モチベーション～ ●学校安全・リスクマネジメント研修 ●教師の働き方 意識改革 ●学校に関する訴訟・判例			
				【希望研修】 ●静岡県養護教諭研究会主催 夏季研・冬季研 ●学校保健関係研修会 ●子どもを育てる保護者との信頼関係づくり ●地域とともにある学校づくり ●ファシリテーションで育む3つの教師力～マネジメント力・授業力・モチベーション～	【希望研修】 ●静岡県養護教諭研究会主催 夏季研・冬季研 ●学校保健関係研修会 ●子どもを育てる保護者との信頼関係づくり ●地域とともにある学校づくり ●ファシリテーションで育む3つの教師力～マネジメント力・授業力・モチベーション～ ●教師の働き方 意識改革						
				初任研	2・3年次研	中堅研	15年次研				
				悉皆 静岡市養護教諭研修会(第1～3回)							
				悉皆 静岡県養護教員講習会							
				推薦 健康教育指導者養成研修							

(4) 【栄養教諭等】教員育成指標

静岡市が目指す 教師の姿	教育にひたむきな教師
	・教育への熱意、使命感をもち、生涯を通じて学び続ける教師 ・ <u>子ども一人一人の学びを最大限引き出し、子どもの主体的な学びを支援する教師</u> ・人とつながる人間関係調整力をもった教師

ステージ		着任時（採用前）	基礎期（初任～中堅研）	充実期	深化期
資質能力		教員としての歩みを 始める時期	教員としての 基礎を確立する時期	中堅教員として、 学校運営の中核を担う時期	自己の専門性（管理者としての専門性を含む）の更なる向上と若手・中堅教員への指導の時期
栄養 ICTや情報・教育データの活用		☐ 「たくましく しなやかな子どもたち」を育成するために、教育的愛情、胆力、人権意識、倫理観と責任感をもち、コミュニケーション力、想像力を働かせて人間性を磨いている。 ☐ 教育を取り巻く課題を前向きに受け止め、自律的・継続的に学び続けようとする。			
		☐ 学校給食の役割や適切な栄養管理について理解している。 ☐ 衛生管理の基礎・基本や重要性について、関連法規及び科学的根拠と紐付けて理解している。	☐ 学校給食摂取基準に基づき、食品構成や食育の観点を考慮しながら地場産物を活用した献立を作成する。 ☐ 学校給食衛生管理基準に基づき、安全や衛生に配慮した環境整備を行うとともに課題について適切な提案を行う。	☐ 子どもや地域の健康課題等を把握して適切な栄養管理を行うとともに、関係者への積極的な情報提供を行う。 ☐ 施設に応じた衛生管理について調理員や教職員へ指導・助言を行うなど、組織的な危機管理体制の整備を進める。	☐ 適切な栄養管理、献立作成、調理、配食等について、 <u>高度な専門知識を生かして指導的な役割を果たす</u> 。 ☐ 衛生管理に関する <u>豊富な経験と高度な知識を生かし</u> 、地域の指導的役割を果たす。
		☐ 食育に関する基礎的な知識を身に付け、食に関する指導の全体計画の立案に参画しようとしている。	☐ 子どもの実態や食に関する指導の全体計画をもとに、学習指導要領に沿い、担当者(担任等)と連携しながら専門性を生かした指導を行う。	☐ 学習指導要領、食育の視点、給食献立に関連付けながら、学校教育活動全体を通して専門性の高い指導を、計画的・継続的に行う。	☐ 若手や中堅職員に授業改善の <u>助言・指導</u> や模範授業を行う。 ☐ 校内の食育推進委員会の一員として、学校全体の教育活動を俯瞰し、学校の教育活動に対して <u>食指導の観点から必要な助言</u> を行う。
		☐ 栄養相談の基本的なプロセスに関する栄養学等の専門知識やスキルを身に付けている。 ☐ 現代社会における子どもの特徴や子どもの多様性を理解している。	☐ 子どもの食に関する健康課題に責任を有する立場であることを自覚し、教職員と連携し、保護者に対する助言や支援を行い、子どもの食に関する個別の事情に応じた相談指導を行う。 ☐ 子どもの実態と背景を把握し、保護者や他の教職員と情報共有しながら、個に応じた指導を組織的・継続的に行う。	☐ 教職員、保護者と連携し、子どもの食に関する健康課題や発達段階に応じた相談指導を積極的に行う。また、関係機関との連携・調整を行う。 ☐ 子どもが生涯にわたって健やかに生きるための基礎を身に付けることができるように、計画的・継続的な指導を行う。	☐ 子どもの食に関する健康課題について、 <u>効果的な個別指導を工夫・改善</u> するとともに若手や中堅職員に <u>栄養学等の専門性の高い助言</u> を行う。 ☐ 経験から醸し出される言葉がけや相談、見届け指導を行い、 <u>子どもの自己実現を全面的に後押し</u> する。
		☐ インクルーシブ教育の理念を踏まえ、栄養士として特別な支援を要する子どもの対応に関する、基本的な知識を身に付けている。	☐ 障害の特性を理解し、特別な配慮や支援を要する子どもへの合理的配慮及びその基礎となる環境整備について、組織の一員として対応している。	☐ 障害の特性を理解した上で、その対応について、若手や中堅職員に専門的な助言を行う。	☐ 障害の特性を理解し、保護者や他の教職員と情報共有しながら、給食提供の上で可能な限りニーズに応じる工夫を行っている。
		☐ 学校におけるICT活用の意義を理解している。	☐ 授業においてICT機器を効果的に活用している。 ☐ 校務においてICT危機を効果的に活用している。 ☐ 子どもの情報活用能力（情報モラルを含む）を育成する指導を行っている。 ☐ さまざまな教育データを蓄積・分析・利活用し、 <u>子ども一人一人に応じたきめ細かい指導・支援</u> に生かしている。		
		☐ 教職員、家庭、地域との連携・協働の意義を理解している。	☐ 保護者や地域への発信、協働を通して信頼関係を築いている。 ☐ 教職員、保護者と協力しながら組織的・継続的に教育活動を行っている。	☐ 学年行事・学校行事等で、教職員や保護者、地域と連携・協働した企画を推進している。 ☐ 地域・保護者の思いを受け止めながら、関係機関と連携し、学校体制で計画的に教育活動を行っている。	☐ 地域や他校・他機関と協働した企画を広い視野で推進している。 ☐ 関係機関と連携を深め、保護者・地域を巻き込み、学校体制で、計画的・組織的に教育活動を行っている。
		☐ 教育公務員としての自覚を持ち、組織の一員として報告・連絡・相談を行い、行動しようとする。	☐ 分掌の業務についてPDCAサイクルに基づいて実践し、子どもを成長させている。	☐ 分掌の主任等としての業務について、同僚との合意形成を図り、計画的・組織的に職務を推進する。	☐ 現状と教育資源の分析をもとに、校内外人材の適材適所での活用や地域との協働により効果を上げている。
		☐ 調理室内の安全管理について理解し、適切に対応しようとする。	☐ 調理室内外の安全管理を適切に行う。	☐ 学校全体のリスクマネジメント（危機回避）とクライシスマネジメント（危機対応）を意識して取り組む。	☐ リスクマネジメントとクライシスマネジメントに関する実施体制の主管と指導を行う。

【栄養教諭等】教員研修（悉皆・推薦・希望研修編）

ステージ 資質能力		基礎期（初任研～中堅研）			充実期	深化期
		学校栄養職員・栄養教諭としての基礎を確立する時期			中堅教員として学校運営の 中核を担う時期	自己の専門性の更なる向上と、 若手・中堅教員への指導の時期
		初任～3年次 ★新採等栄養教諭研修（1年次） ★栄養教諭2年次研修（2年次）	4～10年次程度 ★栄養教諭6年目研修	11年次 ★中堅教諭資質向上研修	15年次研	25年次程度～
栄養 ICTや情報・教育データの活用	学校給食管理・食に関する指導 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	【初任研】 ★学校給食法と学校給食実施基準 ★食事摂取基準と献立作成 ★食品衛生管理 ★学校給食衛生管理基準 ★衛生管理マニュアル類の活用 ★教科研修への参加 ★給食指導 ★食に関する指導 ★食育の推進 【2年次研】 ★先輩から学ぶ一日体験 ★食に関する指導の授業づくり ★食に関する指導の全体計画 ★食に関する指導 ★食育の推進 ★教科研修への参加 【悉皆研修】 ★新規学校新任栄養士研修 ★食育授業研修会 ★衛生研修会 【希望研修】 ●食育講習会 ●健康教室 ●「深い学び」の実現に向けた授業づくり ●子どもの資質・能力の育成を目指す学習評価 ●授業づくり研修（家・縦） ●「健康」の視点から考える運動と食事	【6年目研】 ★教科研修への参加 ★食に関する指導 ★学校給食における衛生管理 【悉皆研修】 ★食育授業研修会 ★衛生研修会 ★衛生責任者研修会 【希望研修】 ●食育講習会 ●健康教室 ●「深い学び」の実現に向けた授業づくり ●授業づくり研修（家・縦） ●「健康」の視点から考える運動と食事	【中堅研】 ★教科研修への参加 ★ガイダンス・授業改善研修① ★食に関する指導 【悉皆研修】 ★食育授業研修会 ★衛生研修会 ★衛生責任者研修会 【希望研修】 ●食育講習会 ●健康教室 ●「深い学び」の実現に向けた授業づくり ●授業づくり研修（家・縦） ●「健康」の視点から考える運動と食事	【15年次研修】 ★教科研修への参加 ★授業公開 【悉皆研修】 ★食育授業研修会 ★衛生研修会 ★衛生責任者研修会 【希望研修】 ●食育講習会 ●健康教室 ●「深い学び」の実現に向けた授業づくり ●授業づくり研修（家・縦） ●「健康」の視点から考える運動と食事 【推薦研修】 ●食育指導者養成研修 ●全国栄養教諭研究大会	【悉皆研修】 ★食育授業研修会 ★衛生研修会 ★衛生責任者研修会 【希望研修】 ●食育講習会 ●健康教室 ●「深い学び」の実現に向けた授業づくり ●授業づくり研修（家・縦） ●「健康」の視点から考える運動と食事 【推薦研修】 ●食育指導者養成研修 ●全国栄養教諭研究大会
	生徒指導	【初任研】 ★ソーシャルスキル ★児童生徒理解 ●アンガーマネジメント研修 ●性の多様性研修 ●子どもが変わる学級づくりのポイント ●子どものレジリエンスを育てるには ●不登校支援のプロセス	●アンガーマネジメント研修 ●性の多様性研修 ●子どもが変わる学級づくりのポイント ●子どものレジリエンスを育てるには ●不登校支援のプロセス	【中堅研】 ★いじめ問題への対応 ★不登校の実態と対応 ●アンガーマネジメント研修 ●性の多様性研修 ●子どもが変わる学級づくりのポイント ●子どものレジリエンスを育てるには ●不登校支援のプロセス	●アンガーマネジメント研修 ●性の多様性研修 ●子どもが変わる学級づくりのポイント ●不登校支援のプロセス	●アンガーマネジメント研修 ●性の多様性研修 ●不登校支援のプロセス
	特性の理解 支援の工夫	★人権教育 ★特別支援教育の現状と課題 ●特別支援教育研修 ●教育のユニバーサルデザイン1～4 ●日本語指導			●教育のユニバーサルデザイン1～4 ●日本語指導	●教育のユニバーサルデザイン1～4 ●日本語指導
	OICT活用 情報活用能力 教育データの活用	●1人1台端末基礎研修 コア研修 ●1人1台端末活用研修 アドバンス研修			●1人1台端末基礎研修 コア研修 ●1人1台端末活用研修 アドバンス研修	●1人1台端末基礎研修 コア研修 ●1人1台端末活用研修 アドバンス研修
栄養 ICTや情報・教育データの活用	マネジメント 連携・協働 ファシリテーション 組織マネジメント 危機管理	★メンタルヘルス ★食育の現状と栄養教諭の役割 ★健康教育における多職種連携 ★情報セキュリティ ●子どもを育てる保護者との信頼関係づくり ●地域とともにある学校づくり ●ファシリテーションで育む3つの教師力～マネジメント力・授業力・モチベーション～ ●ファシリテーションで育む3つの教師力～マネジメント力・授業力・モチベーション～	●子どもを育てる保護者との信頼関係づくり ●地域とともにある学校づくり ●ファシリテーションで育む3つの教師力～マネジメント力・授業力・モチベーション～ ●教師の働き方 意識改革	★マネジメント①基礎基本、演習 ★マネジメント②③演習、実践報告 ●子どもを育てる保護者との信頼関係づくり ●地域とともにある学校づくり ●ファシリテーションで育む3つの教師力～マネジメント力・授業力・モチベーション～ ●教師の働き方 意識改革	●地域とともにある学校づくり ●ファシリテーションで育む3つの教師力～マネジメント力・授業力・モチベーション～ ●教師の働き方 意識改革 ●学校に関する訴訟・判例 ●学校安全・リスクマネジメント研修	●地域とともにある学校づくり ●ファシリテーションで育む3つの教師力～マネジメント力・授業力・モチベーション～ ●教師の働き方 意識改革 ●学校に関する訴訟・判例 ●学校安全・リスクマネジメント研修

★悉皆研修 ●希望研修

(5) 【学校事務職員】育成指標

静岡市が目指す 事務職員の姿		教育の質を高める教育事務を創造し、実践する事務職員						
		・教育への理解、使命感をもち、生涯を通じて学び続ける事務職員						
		・積極的に学校経営に参画し、子どもの主体的な学びを支援する事務職員						
		・人とつながる人間関係調整力をもった事務職員						
ステージ (職名)	着任時		基礎期(初任～)		充実期	深化期		
	新規採用		主事	主任主事	事務主査	事務主幹	共同学校事務室長 兼統括事務主幹	
	セルフマネジメント				組織マネジメント	戦略マネジメント		
資質能力								
素 養		☐ 「たくましく しなやかな子どもたち」を育成するために、教育的愛情、人権意識、倫理観と責任感をもち、コミュニケーション力、想像力を働かせて人間性を磨いている。						
		☐ 教育を取り巻く課題を前向きに受け止め、自律的・継続的に学び続けようとする。						
ICTや情報・データの利活用	新たな教育課題への対応	学校事務遂行 ○財務管理 ○人事管理 ○計画的推進	☐ 決算や予算の執行を把握し、適正に処理している。	☐ 予算の執行や施設設備・備品の現状を正確に把握し、予算委員会等で情報提供し、適正な管理を行っている。	☐ 予算委員会での企画・提案内容を自校や室内に具体的に示し、財務マネジメントを生かした教育事務を遂行している。	☐ 構成校における財務マネジメントを把握し、課題に対応している。	☐ 室員一人一人の資質能力やキャリア段階を的確に把握し、室員が意欲的に学校経営参画に取り組める体制を整える。	
			☐ 法令根拠に基づいた実務を習得する。	☐ 業務の結果をフィードバックし、知識を増やす。	☐ 先輩からの指導助言を自校の具体的な業務の改善に積極的に役立てている。	☐ 専門性を生かし、室員の指導・育成を行っている。	☐ 調整担当・チームリーダー等の指導・育成を行っている。	☐ 室の中核となる事務職員の指導・育成を行う。
				☐ 関係法規や職務に関する知識及び技能を生かし、計画的に正確な事務処理を行っている。	☐ 業務の兼ね合いや優先順位を考慮し、効率化のための工夫をしている。	☐ 学校運営が法規等に基づき、計画的かつ適正に行われるよう、室内の教職員に対して適切な助言をしている。	☐ 各学校の経営方針に基づき、行政ニーズを踏まえた課題を的確に把握し、室を運営している。	☐ 静岡市立小中学校の事務処理体制の在り方を統括し、豊富な知識と経験を生かし、室の経営ビジョンを示す。
				☐ 教職員との円滑なコミュニケーションを図り、教育活動を理解している。	☐ 学校教育目標の達成に向け、他職種と協働しながら、自分の役割を果たしている。	☐ 学校評価から、校内の事務主任の立場で積極的に工夫・改善に取り組んでいる。	☐ 的確な判断と確実な業務の遂行により、教職員、保護者、地域、関係機関からの信頼に応えている。	☐ リーダーとして、構成校の課題を把握し、専門的な視点から指導や助言を行い、課題解決を図っている。
	○教職員との連携 ○教育行政との連絡		☐ 室における担当業務に必要な専門知識・技術を習得する。	☐ 室における役割を理解し、担当として積極的に取り組んでいる。	☐ 学校をとりまく課題に対し、室運営の在り方を考え、リーダーとして解決に向けて継続的かつ計画的に取り組んでいる。		☐ 室の課題を明確にし、解決に向けて指導・助言する。	
		○ICT活用 ○データの利活用	☐ 学校におけるICT活用の意義を理解している。	☐ 校務においてICT機器を効果的に活用している。 ☐ ICT機器に関する知識・理解を深め、子どもの学習環境等の整備に生かしている。				
	○マネジメント 家庭・地域との連携・協働 情報収集・発信		☐ 保護者、地域等からの意見や問い合わせに対して誠意をもって対応している。	☐ 校内の運営委員会等で各主任との円滑な連絡調整を図り、積極的に学校運営に参画している。	☐ 校内の運営委員会、学校運営協議会等において情報を発信するとともに、保護者、地域等からの情報を積極的に収集し、学校経営参画に生かしている。	☐ 室内の課題や構成校における学校運営上の課題について、他職種と協働し業務改善を行っている。	☐ 関係機関と確実に連絡調整を行い、校内や室の業務を円滑に推進している。	☐ 教育振興基本計画の実現に向け、教育委員会、校長会等とともに静岡市の教育を担う教育事務を展開する。
		組織マネジメント	☐ 教職員としての自覚をもち、組織の一員として、役割を果たしている。(報告・連絡・相談)				☐ 教育事務について、積極的に情報収集し、課題解決を図っている。	
				危機管理	☐ 情報セキュリティポリシーや文書取扱要領等に基づいて、校内の情報や文書の取扱を適切に行っている。	☐ 構成校における情報資産や文書が適切に管理されるために必要な情報の発信や手立てを講じている。	☐ 情報セキュリティポリシーや学校管理についての危機管理意識を常にもち、情報セキュリティインシデント対策に努め、構成校の学校の情報や文書の管理を適切に行えるよう情報発信し、手だてを講じている。	

*「室」とは、共同学校事務室をさす。

*「構成校」とは、共同学校事務室内の構成校をさす。

*ここでの「教育事務」とは、静岡市の教育に関する事業において、直接的な指導を除いた仕事をいう。

事務職員研修（悉皆・推薦・希望研修編）

静岡市が目指す 事務職員の姿		教育の質を高める教育事務を創造し、実践する事務職員					
		・教育への理解、使命感をもち、生涯を通じて学び続ける事務職員 ・積極的に学校経営に参画し、子どもの主体的な学びを支援する事務職員 ・人とつながる人間関係調整力をもった事務職員					
ステージ (職名)	着任時	基礎期(初任～)		充実期	深化期		
	新規採用	主事	主任主事	事務主査	事務主幹	共同学校事務室長 兼統括事務主幹	
	セルフマネジメント			組織マネジメント	戦略マネジメント		
資質能力							
素 養		□「たくましく しなやかな子どもたち」を育成するために、教育的愛情、人権意識、倫理観と責任感をもち、コミュニケーション力、想像力を働かせて人間性を磨いている。 □教育を取り巻く課題を前向きに受け止め、自律的・継続的に学び続けようとする。					
ICTや情報・データの活用	新たな教育課題への対応	学校事務遂行 ○財務管理 ○人事管理 ○計画的推進	2年次 ・所得税・年末調整 ・年度末始事務 ・給与実務研修 3年次 ・旅費実務研修		再任用主任主事 希望研修	教育センター主催 希望研修	
			主事・主任主事研修会 ・学校保健、生徒指導 ・静岡市の教育施策 ・働き方改革 ・施設管理、市費会計 ・学校給食、学校図書館				人事課人材育成係主催 選択研修
	○教職員との連携 ○教育行政との連絡	・接遇 ・グループワーク ・エンカウンター ・メンタルヘルス	2年次 ・グループワーク			新任事務主査 研修会	
						事務主査研修会 ・ファシリテーション研修 ・課題解決研修	
	○ICT活用 ○データの活用						新任事務主幹研修会
							先進地区訪問
○マネジメント	家庭・地域との連携・協働	・静岡市教育施策 ・特別支援教育	2年次 ・特別支援教育		事務主査研修会 ・ファシリテーション研修 ・課題解決研修	新任事務主幹研修会	
		・防災 ・ケーススタディ	・防災 ・ケーススタディ				
	情報収集・発信		3年次 ・他校訪問 ・希望研修		中央研修 ・中央研修伝達講習講師	新任統括事務主幹研修会	
		事務職員全体研修会 マネジメント（カリキュラム・財務・情報・組織）・教育環境・地域連携・経営戦略・教育施策					
組織マネジメント	危機管理	・特定個人情報 ・統括事務主幹講話 ※学校監査・法令 条例・学校預かり金の取扱基準	2年次 ・統括事務主幹講話		新規採用者研修講師 ・校内会計 ・夏季休業前の事務 ・文書事務 ・年度末年度始事務	事務主幹・統括事務主幹研修会	
		8年次研修 教育実践論文				新規採用者研修講師	

※は共同学校事務室でのOJT内容